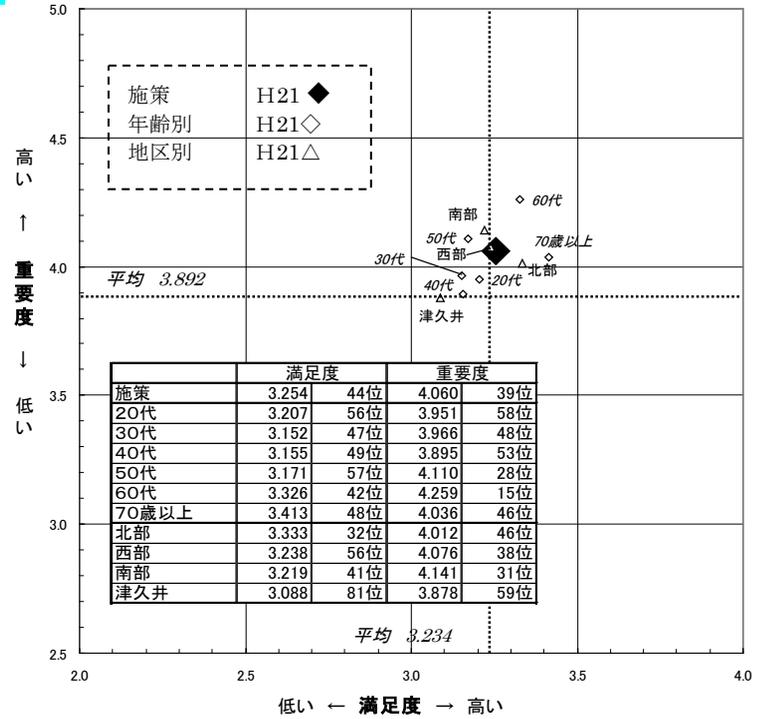




### 5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.254で全119施策の中で44番目。
- 重要度は4.06で39番目である。
- 改善要望度は0.105で44番目である。

治水対策の推進



### 6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	当初予測できなかった産業廃棄物等の処理を行ったため、河川の改修済延長が伸びなかった。
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4(2)1		当初予測できなかった産業廃棄物等の処理を行ったため、当該処理に係る費用(約6,500万円)が河川改修に係る費用とは別に必要となった。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	(4)21	(4)21	
合計		8		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	近年、局地的な集中豪雨が各地で発生しており、本市においてもこれにより河川の水位が急に上昇する回数が増加する傾向にある。
解決策	市民生活の安全を確保するため計画的な事業の推進に努めるとともに、国・県からの補助金の確保を図る。

### 8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

警戒水域に達した回数など、河川改修の効果が客観的に測定できる指標の設定を検討されたい。 ⇒ 警戒水位等については、気象状況による影響が大きいため、警戒水位に達した回数等を指標として設定するのは困難であり、河川改修の効果が測定できる指標としては、施策の目的から既に設定している浸水家屋回避率が最適であると判断される。	2次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向